

## 第2回九州佐賀国際空港PI評価委員会 議事概要

### 1 開催日時

令和5年10月16日(月)13:20~15:10

### 2 開催場所

九州佐賀国際空港 3階レセプションルーム

### 3 出席者

#### (1)委員

弁護士 松尾 弘志(委員長)

佐賀大学工学部教授 帯屋 洋之

佐賀大学教育学部准教授 高島 千鶴

フリーアナウンサー 鳥井 智子

#### (2)協議会

佐賀県地域交流部理事 野田 信二

### 4 議事

(1)PIレポート(案)について

(2)PI活動内容(案)について

### 5 議事概要

#### (1)PIレポート(案)について

事務局から出席者に佐賀空港滑走路延長に関するPIレポートの詳細版(案)及び概要版(案)の説明を行い、質疑を行った。

#### 【質疑】

(帯屋委員)11 ページの案2の両側延長案はデメリットだけが書かれており、検討する価値がないように思うが、案2を検討した理由はあるか。

(事務局)滑走路計画では、単独の案だけではなく、複数の案を検討することが望ましいとされている。佐賀空港では元々用地として確保していた東側に500mの案に加え、陸地に収める場合に西側は100mまでであれば、もう一つの案が検討できるため、案2を作成した。

(松尾委員長)案2の両側延長案は環境面、騒音面でメリットはないか。

(事務局)環境面では、西側に陸地に収まる100m延長した場合でも、進入灯台や進入灯の付け替えなどが発生するため、案1の東側延長案の方が優位となる。騒音面では、空港の東側に住んでいる人にとっては案2の両側延長案の方が優位となる。

(松尾委員長)自然環境と住環境、どちらを優先するのかという考え方もある。東側延長案の案1と両側延長案の案2で、騒音影響がどの程度変わるのか検証しているか。

(事務局)騒音影響はこれから環境影響評価で検討することになる。今いただいたご意見については、自然環境と生活環境(住環境)を区分して検討を記載する。

(高島委員)13 ページの飛行経路の図は滑走路延長前と後で違いが分かりにくいので、赤枠を付けるなどして、分かりやすくしてほしい。

(松尾委員長)騒音の影響について、例えば 500m 延長するとデシベルの範囲がどこまで広がるといような可視化をしたらどうか。

(事務局)具体的な数値は今後の環境影響評価の中で数値化することになっており、現時点では出すことが出来ないため、赤枠をつけて、この部分については騒音の範囲が広がるというイメージを示す。

(帯屋委員)13 ページに滑走路延長により、離着陸の頻度が上がることを記載した方が良い。

(事務局)増便に伴い、騒音影響が大きくなることを記載する。

(松尾委員長)8 ページの半導体が滑走路延長とどう繋がるのかを分からない。半導体に限定せず、貨物の輸送拠点としてのメリットが考えられるのではないか。

(事務局)修文する。

(松尾委員長)7 ページにタイからの佐賀県内宿泊数の推移があり増加傾向だが、これは滑走路延長と関係ないのではないか。

(事務局)直行便がない状況でも増加傾向であることから、直行便が開設されることで、佐賀県の宿泊数が増えるのではないかと示唆して記載している。理屈付けができるような形を検討する。

(鳥井委員)3 ページで佐賀空港の国際線利用者数が滑走路 2,000mの空港で全国 1 位との記載があるが目立たない。堂々と前面に出してもいいのではないか。

(事務局)承知した。

(松尾委員長)8 ページ他空港へのアクセス時間が短縮するというのはどういうことか。旅行先へのアクセス時間が短縮するという文章の方が良い。

(事務局)滑走路延長により、これまで就航していなかった路線が開設され、例えば福岡空港を利用していた方が福岡空港よりも近くの佐賀空港を利用することにより、アクセス時間が短縮するという意味である。修文する。

(帯屋委員)2000 台の無料駐車場はすでに溢れ気味なので、将来的には駐車場を増やす計画はあるのか。アクセスの向上についても。

(事務局)我々も認識を持っているため、意見を踏まえて検討を進めていく。

(鳥井委員)老若男女問わず広く意見をいただくには、詳細版の内容が難しいのではないかと。

(事務局)皆さんに広くお配りするのは概要版になり、もう少し中身を知りたい方には詳細版を読んでいただくことを考えている。

(松尾委員長)1 ページ目の経験豊富なパイロットじゃないとどうして佐賀空港に降りられないのかを分かりやすく記載すべきである。

(事務局)海外で 2000m の空港はほとんどなく、パイロットが慣れていないため、経験豊富など書いている。文章は再度検討する。

(鳥井委員)事業費について、佐賀県の負担はないのか。国がすべて負担するのか。

(事務局)佐賀県も負担することになり、負担率はこれから議論することになる。

(松尾委員長)9 ページに防災拠点とあるが、災害支援拠点ではないか。

(事務局)防災拠点という言葉が適切かどうか確認する。

(高島委員)防災拠点のところになぜ滑走路長の比較表があるのか。他の空港より滑走路が短いので海外からの就航に支障があるという説明に使った方がいい。

(事務局)適切な場所を検討する。

(松尾委員長)6 ページの直行便が就航可能になるエリアで「A321neo を使用した場合のイメージ」というのは必要か。機材の名前を書かなくても、滑走路延長により就航可能エリアが広がるのが分かれば良いのではないかと。

(事務局)A321neo はエアバスの機材の一つになり、機材によって広がり方が異なる。機材名を記載するかどうかは検討する。

(帯屋委員)バンコク・シンガポールだけでなく、行ける都市はたくさん書いても良いのではないかと。

(事務局)都市を追加するかどうか検討する。

(松尾委員長)10 ページの滑走路延長を見越したエアポートセールスとは何か。

(事務局)これまで就航できなかった航空会社に対して、滑走路延長することでエアポートセールスをするという意味である。記載の有無は検討する。

(鳥井委員)滑走路延長することで運用時間は伸びないのか。

(事務局)現状は規則で 24 時までとなっているが、夜間貨物便が飛んでいた時期は早朝 4 時半まで運航可能だった。夜間貨物便等の要望があれば、空港周辺の方々に意見を聞き、運用時間を決めることになる。

## (2)PI活動内容(案)について

事務局から出席者にPI活動内容(案)の説明を行い、質疑を行った。

### 【質疑】

(松尾委員長)説明会の会場に白石町が入っているが、なぜ嬉野市や武雄市ではないのか。

(事務局)白石町は西側の飛行経路に最も近接するため、航空機騒音の意見があるかと思い、説明会の会場として入れている。

(松尾委員長)問4に施設計画の妥当性という難しい言葉があるが、ハガキに必要なか。

(事務局)PIレポートのタイトルと整合を図って、必要性、効果、妥当性、影響という言葉を使用している。

以上